

2016 年度 GSK 医学教育事業助成の概要

学会名

日本泌尿器科学会

正式名称

未来の卓越した泌尿器科医を創るグローバル人材の育成プログラム

医学教育事業の概要

全国の初期研修医対象のセミナー実施

最新医療機器の実技体験、泌尿器科名医による講演、グループディスカッションによる医療レベルの向上と人材育成

医学教育事業の対象者

医師 想定人数：240 人

医学教育事業の必要性

我が国はこれまでに経験したことのない超高齢化社会に突入している。その中で泌尿器医療に目を向けると、前立腺肥大症、前立腺癌、排尿障害などの代表的な泌尿器疾患はいずれも年齢依存性に罹患数が増加することが知られ、実際、昨年は前立腺癌の罹患数が欧米と同様に男性の癌の中でトップに躍り出た。このことは、社会の高齢化が進むほど泌尿器科医の果たす役割は大きくなることを意味している。

一方、日本泌尿器科学会会員の平均は 50 歳で、4 人に 1 人が 60 歳以上となっている。これに対して、40 歳未満は 26.8%に留まり、若い力は十分とは言えない。泌尿器科学会として社会のニーズに対応するには若手泌尿器科医の大幅な増加、未来の卓越した泌尿器科医を創る若手の育成は急務である。

医学教育事業の目的

今回申請する医学教育事業は、医学部を卒業後間もない初期研修医を対象として、泌尿器科の魅力伝え、将来、泌尿器科をリードできる若い人材を 1 人でも多く育成し、泌尿器科診療の普及と質の向上に繋げるとともに、泌尿器科医生涯教育の基礎を構築することを目的とするものである。

医学教育事業の計画・方法等

本医学教育事業では全国の初期研修医を対象にした 2 日間のセミナーを計画している。ここでは、最新医療機器の実技体験、泌尿器科名医の講演を通じて泌尿器科学の魅力、やりがい、奥深さを伝え、少人数グループで若手泌尿器科医や対象となる初期研修医とが忌憚なく話せる機会を提供することによって自身の将来を想起させることに繋げる。また、技術面のスキル向上のため、腹腔鏡手技のコンテストを介して全国の地域横断的な繋がりを創出する魅力あるプログラムを提供する。さらに、喜びの持てる働き方、個人医療レベルを如何に向上させるか、医師としてのプレゼンスの高め方、リーダーシップ、プロフェッショナルリズムの養い方など、重要なテーマに関する講義も予定する。

医学教育事業の成果に対する情報共有について

日本泌尿器科学会ホームページにて公開する。